

平成26年度富里市地域公共交通会議（第3回）会議録

日 時	平成27年2月20日（金） 午後2時～	場 所	富里中央公民館 2階研修室
出席委員	石橋規委員，相川直雄委員，尾崎行雄委員（星野裕幸氏 代理出席）， 長谷川英利委員，高田敏秋委員，佐々木努委員，丹さく子委員， 野澤浩之委員（平山正二氏 代理出席），鶴澤尚夫委員，篠崎秀樹委員， 高中正明委員（飯田謙二氏 代理出席），中野善敦委員		
欠席委員	吉野一行委員，寒郡茂樹委員		
事務局	佐々木総務部長 総務部企画課：萩原課長，細野副主幹，池田主査補		
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 議題</p> <p>（1）実証運行の評価と本格運行について【事務局説明】</p> <p>「質疑・意見」</p> <p>【委員】</p> <p>八街駅への利用はあるのか。</p> <p>【委員】</p> <p>学生の利用はあると聞いている。</p> <p>【事務局】</p> <p>平成25年度で乗車人数が約80人，降車人数が約130人である。</p> <p>【委員】</p> <p>デマンド交通の本格運行に向けた今後の課題において、ワゴン車の研究とあるが、今の経費の中で実施するのは困難である。</p> <p>【事務局】</p> <p>運行経費の削減を図りながら、運賃収入を上げる1つの手法であり、今後の課題である。</p> <p>【委員】</p> <p>さとバス、デマンド交通は、高齢者の利用が多いが、利用促進に向け観光客が利用しやすいようルート図に市内の名所旧跡等のイラストを載せ、広くPRしてはどうか。</p> <p>【事務局】</p> <p>まずは、市民の足の確保を優先的に進めていきたい。</p> <p>【委員】</p> <p>運賃収入と市の持ちだしはどの程度か。</p> <p>【事務局】</p> <p>運行経費はさとバス、デマンド交通を合わせて約2千5百万円であり、運賃</p>		

収入は2つで約2百万円弱である。

【委員】

何か良い広報活動はないか。

【事務局】

広報誌の掲載を継続して実施する。ふれあい講座等を通して、地元に出向いてPRする。

(2) 本格運行後の進め方について【事務局説明】

「質疑・意見」

※特になし

(3) 地域公共交通会議において協議が調っていることの証明について

【事務局説明】

⇒本格運行に向けた運行計画の変更に関して、さとバス、デマンド交通ともに「協議が調っていることの証明」について委員から了承を得る。

(4) その他

【委員】

デマンドを普通のタクシーと勘違いし、オペレーターが時間をかけて説明しても理解されない場合があるので、新たな登録者に対し、①デマンド交通は所定の時刻表と停留所があること、②1時間前までの予約が必要であることの周知を徹底して頂きたい。

【事務局】

周知を徹底する。オペレーターの説明に相当の時間がかかる場合は、市で対応するので連絡願いたい。

5. 閉会

以上